

高槻市古曽部町における オリーブ栽培の取り組み

EX-Agri Kosobe

Nov 6, 2016

古曽部町自治会 2016年秋祭り展示資料を 一部改変

畑でオリーブの試験的栽培を始めて3年が経過し、昨年は約2kgのオリーブが収穫できました。現在は15種類28本のオリーブの樹がすくすくと育っています。

はじめに

鉢植えなのでオリーブを栽培してもなかなか大きくなり
ない、花が咲かない、実がつかないなどの経験をした
方は多いと思います。日照、水はけ、アルカリ土
壌、肥料、虫対策、受粉樹などの品種の選定などの栽
培条件が合うと、オリーブは旺盛な成長と結実をしま
す。

オリーブの栽培条件



現在のオリーブ畑

もともと稲作をしていた田んぼでオリーブの栽培を始めました。最初小さい苗木でしたが成長は早く2年あまりで3m近くになりました。この間に本やインターネットから収集した情報と実際に栽培を経験した中から、古曽部でオリーブを栽培する上で重要と考えている点を次に栽培メモとして紹介していきます。

栽培メモ

1. 品種の選定（オイル、ピクルス、受粉樹、年生）
2. 苗の購入（ホームセンター、通販、価格）
3. 植え付け（粘土層、盛り土、肥料と石灰、支柱）
4. 排水対策（粘土層、盛り土、排水溝）
5. 害虫対策（ハマキムシ、ゾウムシ、農薬）
6. 病気（枯枝病、その他）
7. 剪定（通常の剪定、強剪定）
8. 除草（精耕、除草剤、害虫対策）
9. 肥料（苦土石灰、有機肥料、化成肥料、施肥）
10. 収穫と利用（新漬け、塩漬け、搾油その他）
11. 参考書



品種の選定（オイル、ピクルス）

オリーブの品種は世界で100種以上あると言われていますが、大きく油脂含量の多い（20%くらい）オイル用と果実の大きめのピクルス用に分けられています。今回選定したのはオイル用ですが、粒の大きなピクアルやミッションやタジャスカはピクルスとしても利用されます。

品種	原産国	原産地方	オイル味・果実味
アーベキーナ	スペイン	カタルーニア	とてもマイルド。後味にアーモンドのような香りがする。油が多いので漬物用にもおすすめ。青いトマトを彷彿するような素晴らしい風味。
コラチナ	イタリア	プーリア	味・辛味とも強く、ハーブやリンゴを思わせる風味で香りが強い。強い緑の草の風味と苦味と辛味と安定性。
コレッジョッラ	イタリア	トスカーナ	オイルの風味は上品で草木のような香りがある。
コロネイキ	ギリシャ	クレタ島	オイルは青草・野菜を思わせる風味で後に苦味・辛味が引く。しっかりとしたボディ。
シプレシーノ	イタリア	プーリア	ややフルーティーで強い味わい
タジャスカ	イタリア	リグーリア	オイルは苦味・辛味が少なく繊細。果実は香り優しくマイルドでフルーティな風味が特徴です。
タラスコア	ギリシャ	?	?
ネバディロブランコ	スペイン		緑がかった黄色のフルーティな味。
ピクアル	スペイン	アンダルシア	辛味・苦味共に強い、香り高い品種。ポリフェノール含有率が高い。オイルは高濃度。その香りは青リンゴのようです。
フラントイオ	イタリア	トスカーナ	野菜やアーティチョークのような風味。そのフルーティーで高貴な香りは人気が高い。とてもスパイシー。
ペンドリーノ	イタリア	トスカーナ	小さな葉が密生します。果実は中くらいフルーティーで良質なオイルが摂れます。
ミッション	アメリカ	カリフォルニア	果実の香りもよく、油の含有率も高く、オイル用としても栽培されます。
モライオロ	イタリア	トスカーナ	ポリフェノール非常に高い。オイルは苦味・辛味が強く、レッチーノ種、フラントイオ種とブレンドされることが多い。フルーティな味がします。
ルッカ	イタリア		青いバナナを思わせるフルーティーな香りと胡桃のようなコクと苦み。
レッチーノ	イタリア	トスカーナ	オイルはフルーティーでまろみがある場合が多い。

品種の選定 栽培したオリーブの品種



品種の選定（受粉樹、年生）

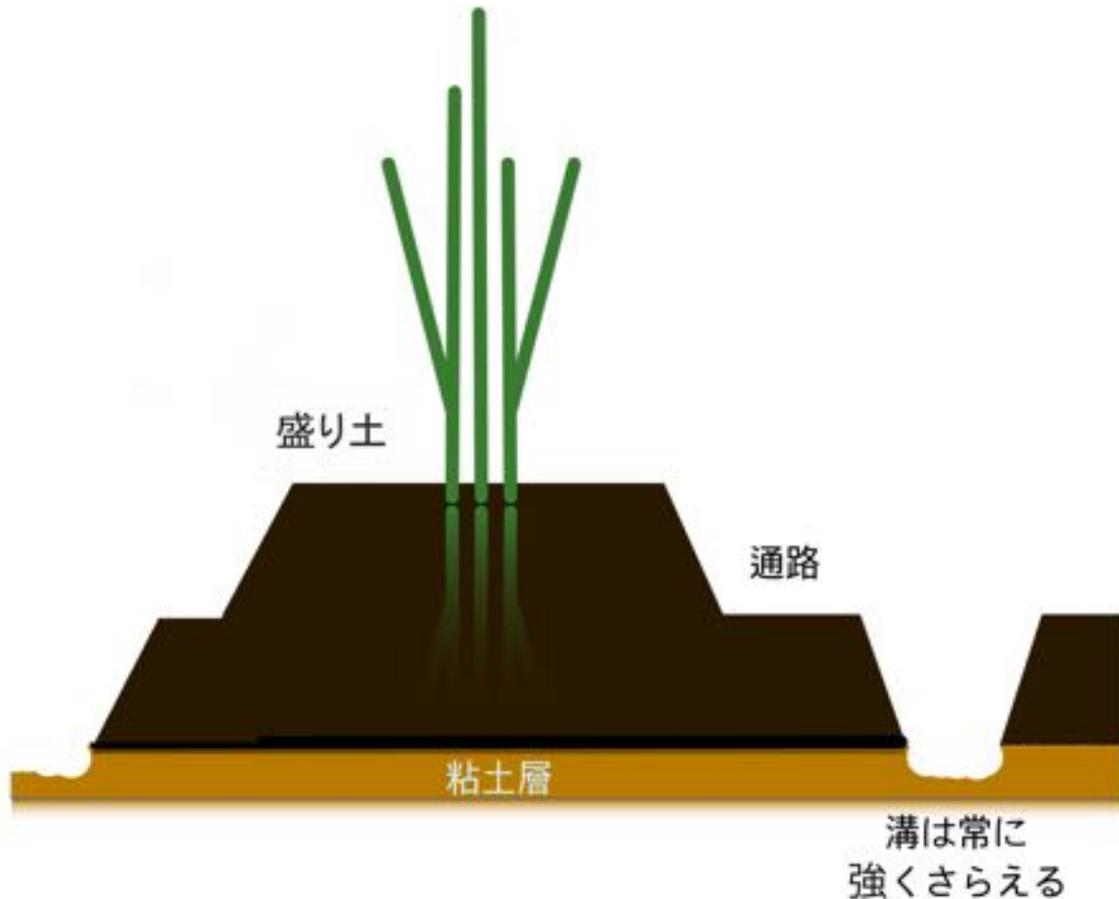
オリーブはミッションやルッカのように単独で受粉し結実するものもありますが、多くは種類の違うオリーブと一緒に植えなければ結実しないとされています。花粉の多いネバディロブランコや、ペンドリーノを受粉種として一緒に植える必要があります。苗は価格面も考慮して生育が盛んで早く結実する3年生を選びました。通常市販の苗は5年生くらいから花が咲きます。（写真は楽天ショップ、ガーデンストーリーより）



苗の購入（ホームセンター、通販、価格）

苗は植え付け時期の2月から4月ごろまでホームセンターにたくさん入荷します。年数がよくわからないものがありますが3年生で3000円くらい2年生で2000円位です。4年生になると一気に7000円以上になります。品種の豊富な通販サイトでの購入は、価格やサイズがまちまちですが、3年生3000円くらいで、大きなものを選びます。

（写真は楽天ショップ、ガーデンストーリーより）



植え付け（粘土層、盛り土）

地植えのオリーブは成長が早いですが、特に田んぼに植える時は水はけを十分確保する必要があります。水田は50cmくらい掘ると粘土層がありますので、この粘土層をさらに10cmは掘り下げる必要があります。粘土層の上を流れる水は、肥料を巻き込み一気に根ぐされを起こします。粘土層を割って植えつける場合や盛り土をする場合も同じです。植え付け時は園芸用の土を苗の周りに多めに入れます。



植え付け（肥料と石灰、支柱）

日本の土壌は地中海地方の石灰岩質とは違い、多くの場合花崗岩の風化物ですので酸性です。植え付け時から土壌に苦土石灰（マグネシウムとカルシウムの混合）を混合し、毎年苦土石灰を周辺に追加する必要があります。多すぎても枯れることはないようです。肥料は、有機肥料を根から離して埋め込みます。苗が若いうちの肥料は成長に大きく寄与します。オリーブは細かい枝葉がたくさん出るため風で倒されてしまいます。木が若いうちは支柱が必要です。



排水対策（排水溝）

日本は雨の多い国です。降った雨水は速やかに抜けるようにします。雨が降った後に水たまりができるようであれば、排水できるように水の流れを見直す必要があります。特に水が湧くような田んぼは、早く抜けてたまらないようにします。粘土層の上に雨水が流ることがないように主な排水溝は粘土層を掘り下げます。



害虫対策（ハマキムシ、ゾウムシ、農薬）

ハマキムシは、新芽に巣を作って成長を止める青虫です。若い苗木には要注意です。親はマエアカスカシノメイガという小さい蛾です。オリーブアナアキゾウムシは、もともと日本に住んでいたゾウムシでオリーブの幹に幼虫が潜り込んで木をを枯らします。ハマキムシは1年目から、ゾウムシは3年めに現れました。ゾウムシ予防にはスミチオン、葉巻虫にはデルフィンを使用します。小豆島でも定期的に散布しています。（イメージはインターネットより）



病気（枯枝病、その他）

枝の先が枯れる病気です。見つけた時は早めに切っておくと広がりを止めることができます。若い木は要注意です。ほっておくとだんだん広がります。殺菌剤を散布することもあります。（イメージはインターネットより）



剪定（通常の剪定、強剪定）

オリーブの成長は旺盛で、品種によっては非常に行儀の悪い樹形になっていきますので、気がついた時に軽く剪定、冬場に思いきった剪定をします。春と、秋に大きく枝が伸びますが、春に伸びた枝に来年実がなりますので選んで剪定します。受粉効率を高めるために植え付け間隔を狭くした場合、風通しと日射を考慮して剪定します。



除草（精耕、除草剤、害虫対策）

雑草は害虫の住処になり、発見が遅れると大繁殖します、常に木の根元の草は刈って、虫を発見しやすくします。周囲の雑草にも葉巻虫の親が潜んでいますので、伸びた草は早めに刈ります。適度に除草剤を使用します



肥料（苦土石灰、有機肥料、化成肥料、施肥）

毎年冬に有機肥料と苦土石灰を散布します。肥料が足りているときオリーブはどんどん新芽が出ます。特に若い時は早く成長させて大きく根を張らせます。（イメージはインターネットより）

収穫と利用（新漬け）



オリーブの実はそのままでエグミが強くて食べられません
新漬けと呼ばれる塩漬けはアク抜きに苛性ソーダを使います
1日置いた後、液が透明になるまで果実が空気に触れないよ
うに水を替え、3%くらいの塩水に置き換えていきます



収穫と利用（搾油）



まだ青い実も含めて採取し、種を抜いて粉碎後、1時間ほど攪拌してから遠心分離すると5%くらいのエクストラバージンオリーブオイルが取れました

収穫と利用（塩漬け）



完熟したオリーブを種抜きし、塩をまぶして保存、数ヶ月後に塩抜きをするとアクも抜けます

2013年9月（移植6か月後）



移植 1 年6か月後



移植後2年4か月後



2016年春（移植3年2か月後、開花）



2016年夏（移植3年3か月後、結実）



参考書

